

しあわせ

No.138

編集・発行：社会福祉法人西宮市社会福祉協議会
〒662-0913 西宮市染殿町8-17
西宮市総合福祉センター内
TEL:0798(34)3363 FAX:0798(35)1132
http://www.n-shakyo.jp

障害のある人もない人も自分らしく 一緒に安心して暮らせる地域社会を目指して



障害者週間
12月
3日～9日

国際障害者年(昭和56年)、国連・障害者の10年(昭和58～平成4年)を経て、障害のある方の自立や社会参加がすすんできました。しかし、一方では、周囲の無理解、偏見などによって社会的な孤立を引き起こすことがあります。このことを防ぎ、「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をすすめるためには、障害のある人や福祉サービスを利用する人がサービスの受け手としてだけでなく「ともにまちづくりをすすめる一員である」という認識が定着することが大切です。また、身近な地域で情報交換や学習・交流・社会参加活動あるいは必要な相談・サービスが受けられること、そして近隣相互の助け合い活動と利用しやすいサービスのしくみなどが求められています。

今回は西宮市社会福祉協議会(社協)の支部・分区(概ね小学校区)を中心とした福祉学習・ふれあい交流・支援活動及び総合福祉センター、青葉園、障害者生活相談・支援センター「のまネット西宮」の取り組みをご紹介します。

社協支部・分区

地域福祉課 ☎(0798)34-3363

○福祉学習

子どもをはじめ広く地域住民が障害のある方の生の声を聞いたり、車イス・アイマスク体験などを通して、障害に対する理解を深め、福祉をより身近に感じるきっかけをつくる場として、取り組んでいます。

○東山台分区「障害者と家族のつどい」

毎月1回、地域内在住の障害者と分区関係者が集まり開催しています。施設職員を招いての学習会や、一緒に食事づくりを行うなどして、懇親・交流を深めるとともに、当事者同士の情報交換が図られています。このことを通して障害のある方の社会参加が広がっています。

○地区ボランティアセンターからの支援

地域内の住民による助け合い活動の安心拠点として、市内32カ所に「地区ボランティアセンター」が開設されています。市民からさまざまな相談が寄せられ、情報提供、サービス紹介をはじめボランティア育成やボランティアによる支援活動などを行っています。

《活動事例》視力障害を持つ一人暮らしの家庭に、2～3名のボランティアが定期的に訪問しています。当初はボランティア依頼を遠慮されていましたが、今ではずいぶん明るくなられ、「自分も何かボランティア活動してみたい」とおっしゃるようになりました。ボランティアさんも「少しでも気晴らしになればいいな」と応援しています。

西宮市総合福祉センター

☎(0798)33-5501
FAX 35-1132

センターでは、障害のある方へのスポーツ・文化教養教室を開催したり、身体障害者デイサービス、リハビリ訓練・指導、相談事業、視覚障害者図書館の運営など、障害のある方々の生活や余暇活動へのサポートをしています。

○文化サークル活動

陶芸、絵画、俳画、書道、写真、囲碁・将棋、華道、煎茶、日本舞踊、詩吟、民謡、琴、大正琴、英会話、合唱、カラオケと多岐にわたる18のサークルが余暇活動の場の創出と交流を目的に活動しています。センター主催の「文化サークル合同発表会」などで日々の成果を発表しています。



○スポーツサークル活動



卓球、水泳、ゲートボール、ローリングバレーボールの種目で、7つのサークルが健康とリハビリと交流を目的に、練習に励み、各地の大会や練習試合にも参加し、成果を試しています。そして、障害のある方もない方もこれらのスポーツを一緒に楽しみながら、親睦を深めています。

青葉園(身体障害者通所授産施設)

☎(0798)35-0013

○地域住民と通所者が一体となって

青葉園では、園内での活動だけでなく、通所者一人ひとりがそれぞれの暮らすまちの一員としての活動を進めています。「青葉のつどい」は、現在神原・鳴尾・鳴尾東・若竹の4カ所の公民館で行っています。また、大社・瓦木地区での「交流会」、春風地区での「リサイクル活動」、運動会・夏祭り・餅つき大会など各「地域行事への参加」など、地域住民と一体となった活動が進められています。地域住民の方が園と一緒に食事をしたり、園の活動に参加し通所者とのふれあいを深める「青葉園一日体験」も活発に行われています。

～地域に支えられて10年 鳴尾東青葉のつどい～

平成6年、鳴尾東青葉のつどいは、地域住民と通所者として構成された地区運営委員会を中心に始まり、今年9月「10周年記念事業」を開催しました。

「阪神・淡路大震災の際も、みんなで力を合わせて活動を再開したことがこの10年につながったと思う。これからも地域の活動拠点として更なる充実発展を！」との挨拶の後、「祝10周年・これからも地域でガンバルぞ！」と全員の思いが描かれたくす玉が本人メンバーの手で割られました。そして、史蹟巡りや芋煮会、地区運動会など、10年間の思い出が次々と語られました。

地域の方々との手づくりの記念事業を終え、地域の中で継続して活動することの大切さをより強く感じました。今後も地域に根ざした活動を、みんなで一緒に作っていききたいと思います。



障害者生活相談・支援センター『のまネット西宮』

☎(0798)37-1300 / FAX 34-5858

『のまネット西宮』は、障害のある方の日常生活や社会参加などについて、総合的な相談・支援を行っています。ご本人が希望する生活を実現するために、サービスの利用援助や支援プランを作成しています。また、当事者や地域の方々とともに、講座開催やプログラム提供を行っています。

○障害福祉支援費制度セミナー

西宮市の障害福祉に関わる様々な状況や課題について意見を出し合う場として、支援費制度スタートに先駆け、一昨年度より開催してきました。当事者・家族、事業者をはじめ地域の方々参加を得て、わがまちの障害福祉の今後やノーマライゼーションのまちづくりについて、共に考え、話し合える場を目指しています。

○地域生活体験プログラム【のま倶楽部】

障害が重い市内養護学校卒業生で、より主体的な社会生活を希望される方を対象に、自己実現を目指して、介護者との関係づくりのコーディネート・外出・地域交流等のプログラムを一定期間提供しています。

「ノーマライゼーション・フォーラム」 ～西宮がすきやねん～

ノーマライゼーション・フォーラムは、「だれもが安心して暮らせるまちづくり」について、障害のある方の地域生活の視点から、地域で活動をすすめる方々とともに考える場として毎年開催しています。今後の社会福祉の動向を見通し、21世紀のまちづくりについて参加者全員で考えていくつどいです。ぜひ、ご参加ください。

日時：平成17年1月15日(土) 13時～16時

会場：西宮市立勤労会館 ホール

内容：【講演とパネルディスカッション】

テーマ：「震災から10年。揺れても壊れないノーマライゼーションのまちづくりを！」

参加費：無料 定員：400人 ※入場自由

お問い合わせ：障害者生活相談・支援センター「のまネット西宮」

〒662-0913 西宮市染殿町8-17 西宮市総合福祉センター内

☎(0798)37-1300 / FAX 34-5858

Email: nomanet@hcc5.bai.ne.jp

市民参加型障害者福祉推進事業

輪イ和イひろば

日時：平成16年12月5日(日) 10時～15時30分
場所：西宮市総合福祉センター (雨天決行)

テーマ『共に生き 共に育む 福祉のまち』

○交流会(本館・別館等)

- オープニングセレモニー 和太鼓(10時～)
- スタンプラリー ○障害者福祉相談
- 手話・点訳・要約筆記体験 ○アイマスク体験
- 障害者スポーツ体験(11時30分まで)
- おもちゃライブラリー ○リハビリセンター見学・相談

○交流ひろば(玄関前)

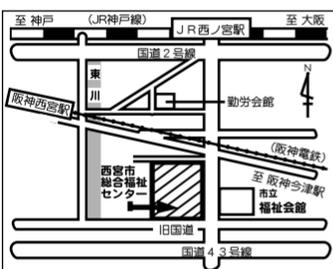
- 餅つきコーナー ○昔遊びコーナー ○出店コーナー

○ミニコンサート(14時～15時30分 体育室)

市内で活動するグループによる楽器・和太鼓演奏

○展示・紹介・啓発コーナー(1階・4階等)

- 団体、施設の活動紹介 ○福祉機器展示
- 障害者福祉啓発 ○ボランティア活動紹介・相談



《車での来場はご遠慮ください》

主催：西宮市ノーマライゼーション推進協議会

お問い合わせ：西宮市総合福祉センター

〒662-0913 西宮市染殿町8番17号

☎(0798)33-5501/FAX 35-1132